福島県建築関係工事特記仕様書【R7年10月版】						項目	特 包 事 項	4 〇 1 事前措置	※ 浄化槽・排水槽等の汚水・汚物等を処理し、洗浄、消毒等を行う。	[3.2.1]
I 工事概要						1 〇 12 電子納品	電子成果品は、福島県電子納品運用ガイドライン(営機工事権)により納品を行う。 対象書類 (* 工事写真 ・ 施工計画者 * 発成図 ・ その他()))	解 〇 2 機器等の解体	※ オイルダンク、オイルサービスタンク及び配管内の廃油を処理し、洗浄等を行う。※ 工事範囲内の機器類は、各種別ごとに分別解体する。	[3.4.1]
1 工事名称 —					地内	_ _	※ 検室用機器(パソコン、モニター等)は、受注者が準備する。 原則モニターのサイズは、21~24インチ程度とし、解像度はアスペクト比16:9の場合1920×1080以上、アスペクト比16:10 の場合1920×1200以上とする。	体施 エ 〇 3 基礎及び杭	※ 設備機器等は専門業者又はメーカーが解体し、パッテリー液・プロンガス等は関係法令に基づき適正に処分する。 杭の撤去 ※ 行う ・ 務置	5. [3.9.2]
2 工事場所 2 建物概要					AE PI	_ 共 通 ○ 13 完成時の提出書類	※ 工事写真のサムネイル一覧を提出する。 (1) 完成図書 (※ 提出する ・ 提出しない) ・ 黒表紙(金文字入) A4版(1部) ※ ハードファイルA4版(1部)		売置または一部撤去の場合の処理 係体方法 第体方法 第次を抗心処理 ※ 机種、抗径、位置、抗頂部高さ等の配機を整備し、監督員に提出する。 第は方法 ※ 引抜き ・破砕 ・ 杭頭はつり (mまで) ・ (mまで)	à.
2 定物研究						項	(2) 建築物の保全に関する書類 (* 提出する ・提出しない) ハードファイルA4版(1部) (3) 完成図 (* 提出する ・提出しない) A2版、A3版2つ折り製本(各1部)		・ 山砂 ・ 流動化処理土 ・ セメントミルク ・ (- 杭の種類	,)
建	あ名 称 構造	階 数	延面積 (㎡)	消防法施行令 別表第1区分	備考		(4) CADデータ、PDFデータ(1式) (* 養出する ・ 養出しない) (※CADデーク選出の場合には、オリジナルCADデークを選出のこと。) (※PDFデータとは、CADデータをPDF形式で保存したもの。)		適心力候務コンクリート杭 ・ 高強度プレストレスコンクリート杭場所打ちコンクリート杭 ・ 木ぐいRCペイル	
1						- □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	第1編(絶則)1.8.4(完成図その他)によるほか、下配による (1) 種類及び配入内容		建物名等 枕径 長さ 本敷 備考	
3						————————————————————————————————————	(本) (金融及び部分で3年 (電景) (記入内容)			*****
4						_ ○ 15 設計CADデータ貸り	与 ・	O 4 さく、服明設備等の 付属物	付具物の解体 ・行う (・図示による・・・・・)・行わない	[3.10.1]
Ⅱ 工事仕様						〇 16 工事検査	提出写真 ・	〇 5 構内舗装、樹木等	横木等の伐採、伐根 ・ 行う (・ 図示による ・) ・ 行わない 支障となる者木の移植 ・ 行う (・ 図示による ・) ・ 行わない	[3.11.1]
1 図面及び本特配仕様書に記載無き事項は、次による。							工事検査に際し、下記により写真を監督員に提出する。	○ 6 地下埋設物及び 埋設配管	撤去する地下埋穀物、埋穀配管 ・ あり (・ 図示による ・) ・ なし	[3.12.1]
※「建築物解体」	條工事共通仕樣書」(福島県土木部) 事共通仕様書(令和4年版)」(国土交通: :工事共通仕様書」(令和4年度版)」(公共						<u>壊工検査</u> O O 1部 (既済後) (O) (O) (1部)	5 〇 1 再資源化等	中間処理、再査額化施設 ※「1 一般共通事項 7 発生材の処理」による。	[4.4.1]
: {)				※ 上配以外の必要写真は、監督員の指示による。※ 撮影は福島県土木部制定「建築設備工事写真管理基準」による。		再資源化する建設廃棄物 ※ 建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物 ※ 金鳳顎 ※ 金鳳顎 ※ ※ 金鳳駅 ※ ※ 本産 本 ※ ※ 金鳳駅 ※ ※ 本産 本 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	
2 項目は、番号の前に〇印、または番号に〇印の付いたものを適用する。適用しない項目等は斜線、・印、または無印とする。						○ 17 建設工事使用機械 等	※ 建設工事による排出ガス対策型建設機械を使用すること。 ※ 建設工事に伴う属音振動対策技術指針に基づき、低麗音型建設機械を使用すること。	設度	※ 賽獅有効利用促進法に基づく指定再費爾化製品 ※ 賽蘭有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品 - 廃棄物処理法に基づく水最使用製品産業廃棄物	
3 特配事項は、〇印の付いたものを適用する。 〇印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 〇印と※印の付いた場合は、両方を適用する。						O 18 設計GL	※ 建設機械等のアイドリングストップを実施し、その点検を行うこと。※ 図示による。 BM± ()	薬 物 の	硬質ボリ塩化ビニル管及び維手ガラス	
※印を適用しない場合は、・に変えること。 4 形状寸法の単位は、特配した場合を除きミリメートルとする。						○ 29 既存部分等への処置	工事施工に繋し、既存部分を汚染又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修すること。	処理	指定建設資材廃棄物としての木材の縮減(焼却) ※ 不可 ・ 可 再資源化して現場で利用する建設廃棄物 ・ ()	
5 各章の特配事項欄にある[県:]と表示されているものは、「建築関係工事共通仕機書」を示し、()書きは「公共建築工事標準仕機書」、						○ 20 他工事との取合い	第工図 設備機器の設置、取合いなどが検討できる施工図を提出し、監督員の承諾を受けること。	O 2 処理に注意を要する 建設廃棄物	処理に注意を要する建設廃棄物 - 石綿含有せっこうボード	[4.5.1]
[] 書きは「公共建築改修工事標準仕様書」、[] 書きは「建築物解体工事共通仕様書」の章・節・項番号である。 6 本特配仕様書に選択項目がない場合は、空間等に仕様を記載する。						O 21 電気工事士	電気工事士法の適用除外となっている最大電力500kw以上の需要設備の工事においても、第1種電気工事士により 第1を行う。		 ・ ひ繋・かにうか合有せっこうボード ・ 上配以外のせっこうボード ・ CCA処理木材 (クロム、鋼、ひ案化合物系防腐処理木材) 	
						- 22 火災保険等	(1) 火災保険 ・ 適用する (・保険期間:工期+14日 ・ 適用しない) ・ 加入時期 (・駆体及び電方完下時 ・ 着手日(気御施工に着手する日)	6 〇 1 廃石總等	※7 石綿合有建材の除去及び処理による。	[5.4.1(1)]
項 目 1 〇 1 適用基準等	・共通仕様書(土木工事編)	/被會個工-	特記事項			-	(2) 法定外の労災保険の付保 ※ 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。	O 2 PCB含有機器類	関査方法 ※製造所、製造年、型式等による関査 ・専門分析機関による数量PCB分析関査	[5.4.1(2)]
1 0 1 週州孟平寺	※ 建築工事、電気設備工事 ※ ふくしま公共施設等ユニバ	機械設備工事、建	與改修工事監理指針	(国土交通省大臣官房官庁)		○ 23 入札時積算数量會所 用方式	本方式では、入札時において発注者が入札時確算数量書を示し、入札書加者が入札時確算数量書に記載された確算数量を活	特	関連対象)
般	・ 建築工事標準仕様書・同 ※ 建築関係工事における選 ※ 工事書類チェックリスト (相	休2日促進工事試行	要領 ※ 建築・設備	・全工程・一部工 ・	量書活用方式試行要領)	用して入札に参加する場合において、工事階負契約の締結後に生じた当該積算数量の疑義について、発注者及び受注者は、入 札時積算数量客に基づき、積算数量に関する協議を行うことができる。	理 産 O 3 PCB含有シーリング材	事前調査等 ・行う (現場においてサンブルを採集し、専門分析機関で分析を行う。) 採取箇所 ・ 外髪目地 ・ 建具開梱目地 ・ 図示による	[5.4.1(3)]
事 ○ 2 施工条件	※ 建設キャリアアップシステム・ 下記以外は図示等による。	A活用工事実施要 領				○ 24 情報共有システム○ 25 遠隔臨場	※ 建築関係工事共通仕様書(県:第1編 1.1.25)による。※ 連集関係工事共通仕様書(県:第1編 1.1.26)による。	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	採取箇所数 ・部材が異なるごとに1箇所 ・図示による ・ 行わない	
項 0 2 處工架件	(1) 工事車両の駐車場 ((2) 資材置き場 (※ 構内 ・ (※ 構内 ・ ())	○ 26 建設キャリアアップ	(1) 本工事は、『福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領』の対象工事である。	物 の an	分析によりPCBの含有が確認された場合は、下配により施工調査等を行い、適切に処理を行う。 調査範囲 工事範囲全て 図示による	
〇 3 工事実績デー	(3) 建設発生土(埋戻し、星 マの 工事請負代金が500万円以上		(※ 構内 ・ (())	システム(CCUS) O 27 その他	(2) 受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。 本工事の施工にあたって資機材及び労働者の関連に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、	理	調査内容 ・シーリング使用部位及び長さの確認 ・ 施工範囲と工事監理区分の確認 ・ 仮設計画 ・ 廃棄物等の搬出方法	
作成、登録							工事の一時中止及び工業の変更について検討し、決定するものとする。	○ 4 廃油 ○ 5 廃酸・廃アルカリ	処理方法 ・焼却処分 ・中間処理施設による再生処理 ・中和処理 ・中和処理 ・中和処理	[5.4.1(4)] [5.4.1(5)]
〇 5 技能士	・適用する	rv.	• 1	適用しない		2 〇 1 仮囲い	 ・波形鉄板 ※ 万能板郷 ・半者+シート受り ・キャスターゲート ・() 	○ 6 ダイオキシン類	サンプリング調査・行う・行わない	[5.4.1(6)]
	適用工事種別 ・ (等級	区分は1級又は単一) 等級とする。			仮 設 ○ 2 危険防止	※ シート要り ・ 金アミ ・ ()		焼却施設の解体及び処分の方法 ・ ()	
○ 6 イメージアップ○ 7 発生材の処理	適用する ※ 適用した有価物(zv • 1	反囲いの美化・ こ	プラワーボックスの設置 、	• 夜間照明設備	→ ○ 3 足掛	 ・本工事 (※ 内部足場 ※ 外部足場 ・ 基礎足場 ・ コンクリート打散足場) なお、本工事で設置した足場、検機、作業構台の類は、無償で別契約の関係受注者等に使用させること。 	7 ○ 1 石綿含有建材の処理	石綿含有趣材の調査 ※ 行う・ 行わない 電音範囲 ()	
一 発生物の残る	引き渡しを要するもの(係ポリ塩化ピフェニル	含有物 (PCB)	○指示による) ・ 金属類 ・ (,)		・別途 (別契約の関係受注者が設置した足嫌、検嫌、作業構合の類は、無償で使用できる。)	石綿	(
	・現地において再利用化を建設副産物	図るもの	処理方法等		備考	7	足場を殴ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について「厚生労働省 基発第(0424001 号平成21年4月24日) の「早 すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の起立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の起立て等に関する基準」により行うとよ	有	分析による石綿含有調査 ・行う 分析方法 () ・行わない	
	・ 建設副産物の処理方法	•				-	「手寸り先行工法」の足場とは、全層に二段手寸りとつま先板(領木)のある足場をいう。 受注者は、工事着手前に足場の種類及び設置方法等について、監督員と協議すること。	大 ○ 2 石綿粉座濃度測定 の	- 石 綿粉藍濃度測定 ・行う ・行わない 週 定 時 期 測定名称 測 定 場 所 測 定 点	(6.1.3) 備 考
			処理方法 M終(一般) ・ 最終(特別)	管理産業廃棄物)	上の施設名称(※1)	〇 4 工事用水	文氏有は、工学者子前に定義の価値及び収益の伝子について、監督員に動能すること。 構内既存の施設 ・利用できる (※ 有償 ・無償) ※ 利用できない	除	処理作業前 測定1処理作業室内※各室 ~50㎡以下 各2点	
	• 再变 • 再变	原化 ・中間 ・ i	及終(一般) - 最終(特別 及終(一般) - 最終(特別 及終(一般) - 最終(特別	管理産業廃棄物) 管理産業廃棄物)		〇 5 工事用電力	構内既存の施設 ・利用できる (※ 有債 ・無債) ※ 利用できない	処処	~300㎡以下 各3点 300㎡超 協議 測定2 調査対象室外部の付近 計2点 処理作業中 測定3 処理作業室内 ※に同じ	大気
			及終(一般) - 最終(特別 及終(一般) - 最終(特別 ・あり ・なし	管理産業廃棄物)		○ 6 工事用進入路 ○ 7 ベンチマーク	・仮設道路造成 ・() 設置方法 ※ コンクリート杭 ・ 固定物 ・ ()	理	測定4 負圧、除じん装置の排出吹き出し口 各2点	大気
	石綿含有せっこうボードの ひ素・カドミウム含有せっこ	うボードの処理	あり(改修標仕製造業者に処分	9.1.5による) · なし ・ 管理型最	終処分揚で埋立処分する		※置く(計 人)・置かない・置く期間()		(風速1m/s 以下の位置) 測定5 処理作業盛外(敷地境界) 4方向1点 処理作業後 測定6 処理作業協内 各2点	
	PCB含有シーリング材のタ ・ 蛍光ランプ、水銀ランプの		・あり・なし	<u> </u>		_ 〇 9 騒音・粉塵等の対策			(シー) 美生 中) シート撤去後処理 測定7 処理作業室内 作業後1週間以降 測定8 調査対象室外部の付近 計2点	大気
	建設副産物 蛍光ランプ	• 中間	処理方法	積算」	上の施設名称(※1)	411	防音パネルの設置範囲 (・図示による ・ 防音パネルの高さ (・図示による ・ ・防音シート			
	水銀ランプ	・ 中間	。 り、処理施設を指定する 場合でも即針本軍の共	5ものではない。処理施設につ 多とは1.ない。	いては、監督員の承諾を	○ 10 監督員事務所	・ 養生シート ・ 設ける (規模: m2程度) ※ 設けない 信品については、監督員の指示による [2.3.1]	○ 3 石綿含有吹付け材の 除去	工法 ※解体共任6.3.2(2)(ア)による ・ 図示による ・ 図示による ・ 園形化 ・ 園形化 ・ 園形化 ・ 帰株共任6.3.3(エ)(a)による ・ 解体共任6.3.3(エ)(b)による	[6.3.2]
〇 8 石綿含有連材	エ事着手に先立ち、目視及び	が貸与する設計図書		載とはしない。 いる吹付け材、成形板、建築材	掛等の [1.4.1]		・ 飲ける (双条: m2程度) 衆 飲けない 情由については、監督員の根本による [2.3.1] ・ 別途建業工事による	O 4 石綿含有保温材等の	除去方法・破砕して除去・手ばらし	[6.4.1]
事前調査	使用の有無について調査する 調査範囲 ・ (貸与資料 ・ ()	デによる		3 〇 1 埋戻し及び盛士	種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3) (表3.2.1)	除去	飛散防止措置 ※ 遷興化 ・ 固形化 ・ 関形化 ・ 解体共任6.3.3(エ)(a)による ・ 解体共任6.3.3(エ)(b)による	
	分析による石綿含有の調査 材料名	・行う(下表に	たる) ・ 行わない 定量分析方法	常性分析方法		土 ○ 2 建設発生土の処理	※ 構外指示の場所 搬出先の名称 (搬出先の所在地 (市・郡 町・村 大幸 字 地内)	O 5 石綿含有成形板等の 除去	石総含有せつこうボードを除く石総合有成形板の処分 ・埋立処分 ・中間処理 石総合有成形板等の種類 萬工箇所 厚 さ(mm) 僧 考	[6.5.1]
		() 箇所	() 箇所		, *	搬出先での処置 (・敷きならし ※ たい積) 運搬距離 () km		・ 化粧せつごが一ド ・ 9.5 ・ ・ ・ ビニル床タイル ・ 2.0 ・	彐
・ 9 施工教量調査	調査方法 ・ (なお、受在後、撤出や撤出費用に変更の必要が生たた場合は、協議にお変更すること。 協議時には、変更する撤出先が都市計画法(開発許可)、泰林法(林地開発)、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法 (彼正宅地造成等規制法)などの解法令違反ではないことのわかる資料を整督員に提出すること。	計画法(開発許可)、森林法(林地開発)、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法 15令違反ではないことのわかる資料を監督員に提出すること。		
	○ 10 工事用表示板 ※ 適用する ・ 適用しない (果:第1編 図1.3.1) ○ 11 配録報告 工事履行報告書は、下記により提出する。						搬出後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距標等の資料を監督員に提出すること。 ・構内指示の場所 (・敷きならし ・たい積) 	除去	・ 剥離剤併用手工具ケレン工法 ・ 集じん装置付きディスクブラインダーケレン工法 ・ ()	
1) 報告時期 1) 報告時期 1) 報告時期 内 第 工事版行報告書、工事別工程適度表、主要材料搬入状況、当月の出来高状況、工事状況写真 高村書類 月間に要素、各工程の区分毎の牡内積金報告書(写真含む)					工事状况写真	3	※ 受注者は、建設発生土処理にあたり 第1編 (建築工事)1.4.2 (施工計画書)の配載内容に加えて、以下の事項を施工計画書に記載しなければならない。 (1) 株式主人 (利用工具 (2) 株式 (3) 株式 (4) 株式		「汚泥として処理 ・ 適用する ・ 適用しない ************************************	
第17 曹州 万間上保衣、甘上便の位力等の社が保証報百費(予具百ぜ)						-	(1) 処理方法(場所・形状等) (2) 排水計画 (3) 場内維持等 ※ 受注者は、建設発生土受入地ごとの特定条件に応じて施工しなければならない。	○ 7 適用基準	※養養物等の解体等の作業及び労働者が石錦等にばく離するおそれがある産業物等における業務での労働者の 石綿はく羅防止に関する技術上の指針(令和6年1月31日付け、技術上の指公示第25号) ※新石綿技術指針対応版 石綿粉じんへのはく羅防止マニュアル(建取業労働災者防止協会)	
							※ 受注者は、雨水の排水処理等を含めて、搬入土砂の周囲への流出防止対策を構じなければならない。		※ 建築物等の解体等に係る石線は(電防止及び石線飛散漏えい防止対策徹底マニュアル 令和6年2月(軍生労働省、環境省)	
_	•					畐島県○○建設事務所 話○○○-○○○ FAX○○		•	工事名称	
福島	県 建 築 関 係	工事特	寺 記 仕 🤊	様 書		住所 OO市××町△△			1	図面番号
~~*'					設計年:令和〇〇	0年00月	設 計 者 氏 名	印	図面名称 建築解体工事特記仕様書	1